

海のお掃除船「美讃」一般公開！

11月4日、四国地方整備局高松港湾・空港整備事務所は、港湾協力団体(※)である坂出港振興協会と共同で、海面清掃兼油回収船「美讃」の一般公開などを行いますのでお知らせ致します。

※ 官民連携による港湾の管理等を促進するため、港湾管理者が適正な民間団体等を港湾協力団体に指定する制度（詳細は別紙参照）。

1. 「美讃（びさん）」一般公開について

- (1) 日 時 令和元年11月4日（日） 9時00分～13時00分
※当日の気象・海象状況により中止・時間変更する場合があります。
- (2) 場 所 坂出港西運河東側（「海の幸ふれあい市場」西側）
- (3) 公開内容 「美讃」（停泊中）船内の公開、海洋環境事業の紹介パネル展示、清掃船の説明等を公開期間中随時行います。
- (4) その他 事前申し込み等不要です。当日、公開会場に直接お越し下さい。ハイヒールやサンダル履などの乗船は危険ですので、動きやすい運動靴でお越し下さい。

（参考）

一般公開については、坂出市ウェブサイト(下記参照)においても案内されています。

<https://www.city.sakaide.lg.jp/soshiki/minato/bisankoukai-kaijoutyousa2019.html>



平成30年7月豪雨の際、漂流物を回収する「美讃」

問い合わせ先 四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所
副所長 新見 [Tel:087-851-5524](tel:087-851-5524)
主務) 坂出港分室 [Tel:0877-46-0311](tel:0877-46-0311)
海洋環境・防災課：野村、真鍋

高松港湾・空港整備事務所
海洋環境・防災課 宛

FAX : 0877-45-4689

11/4（日）美讃一般公開の取材申込書

貴社名			
連絡先	TEL:	FAX:	
代表者名			
連絡事項等			

10月31日（木）12時までにFAX送信をお願いします。

- 官民連携による港湾の管理等を促進するため、港湾管理者が適正な民間団体等を港湾協力団体に指定する制度。
- 港湾協力団体の指定により、港湾において活動する民間団体等（みなとオアシス運営者やクルーズ旅客受入団体等）と港湾管理者との間に緊密な関係が構築されることとなり、相互の協力体制が構築されることが見込まれ、港湾における活動の円滑化、活性化が期待できる。

港湾協力団体として想定される団体

①クルーズ船寄港時のおもてなし等を行う団体



クルーズ船寄港・出港時の歓迎セレモニー

②みなとオアシス運営・活動団体



みなとオアシス瀬戸田

③港湾に関する啓蒙や環境調査等を行う団体



環境教育イベント



海浜の清掃活動

四国地方整備局管内における港湾協力団体の指定状況(令和元年9月末時点)

指定日	管理者名	港名	指定団体名
H30. 8. 28	徳島県	徳島小松島港	認定特定非営利活動法人 新町川を守る会
H30. 8. 28	徳島県	徳島小松島港	特定非営利活動法人 アクア・チッタ
H30. 8. 28	徳島県	徳島小松島港	特定非営利活動法人 港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま
H30. 8. 28	徳島県	徳島小松島港	一般社団法人 CS阿波地域再生まちづくり
H30. 7. 15	坂出市	坂出港	坂出港振興協会
H30. 7. 15	坂出市	坂出港	坂出清港会
H30. 9. 13	愛媛県	宇和島港	株式会社うわじま産業振興公社
H28. 12. 21	八幡浜市	八幡浜港	八幡浜港みなとまちづくり協議会
H30. 3. 29	八幡浜市	八幡浜港	NPO法人港まちづくり八幡浜
H30. 3. 22	高知県	久礼港	(株)SEAプロジェクト

※ 令和元年8月末日時点において全国で41団体が指定を受けている

海面清掃兼油回収船「美讃」の概要について

国土交通省四国地方整備局に配備されている海洋環境整備船「美讃」は、漂流するゴミや油の回収作業を日々実施し、美しい瀬戸内海の環境や航行船舶の安全を守っています。

■美讃の概要

「美讃」は船体中央にコンテナ式のゴミ回収装置を設けているほか、流木等を積み込む多関節クレーンを装備し、大小さまざまなゴミの回収ができるように設計されています。

また船体後部に設けられた油回収装置により流出した油の回収を敏速に行うことができます。

さらに、水質調査を行い、海の環境を継続的に確認することができます。

◆ゴミ回収

海面に浮遊するゴミは、「美讃」が潮目に漂っているゴミに向かって進むことで、双胴船の中央部の回収コンテナに回収されます。

また、流木などの大きなゴミは船体の左右に設置した多関節クレーンで回収します。

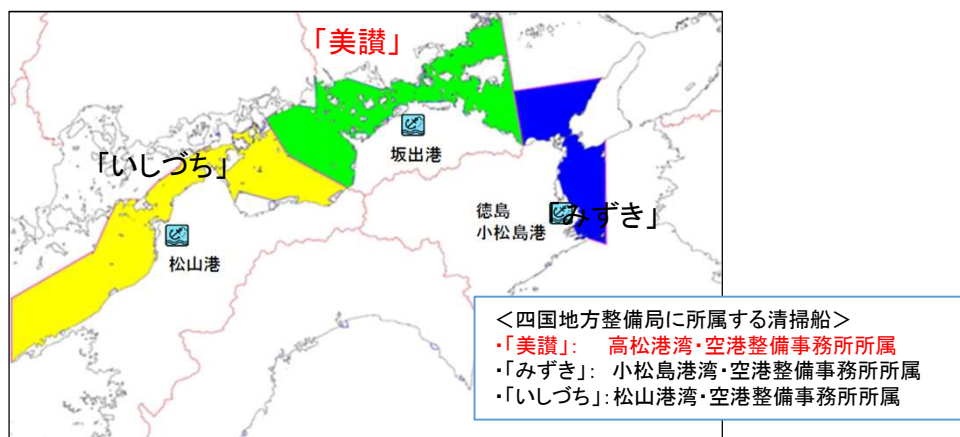
◆油回収

海難事故や過失による油流出などによって海面に漂う油を回収します。

油回収装置で油水を分離し、低粘度(軽油)から高粘度(重油)までのあらゆる状態の油に対処することができます。

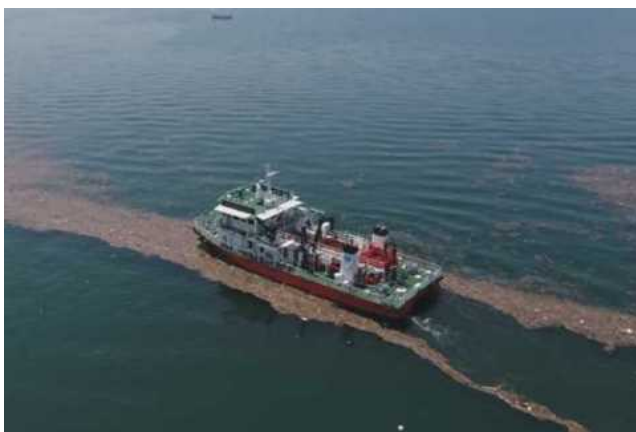
■担務海域

備讃瀬戸全域及び備後灘、燧灘、播磨灘の一部海域 (2,500km²)



■平成30年7月豪雨に伴う海面浮遊ゴミの回収

平成30年7月豪雨により瀬戸内海に大量の漂流物が流出し、豪雨後の1ヶ月間で880m³(10tダンプで約147台分・平年の約3倍)の漂流物を回収しました。



瀬戸内海の漂流物を回収する「美讃」



漂流物を回収した「美讃」の回収コンテナ

「美讚」は、より一層の航行安全の確保と環境整備に努めます。

「美讚」は航行スピードの向上やゴミ回収コンテナの大容量化により、より効率的に海面浮遊ゴミの回収や油回収が可能となりました。また、水質調査などの海洋環境調査に必要な設備を搭載する等、今後、様々な場面での活躍が期待されています。

■ 美讚 DATA

船種	海面清掃兼油回収船	最大速度	約14ノット
船型	双胴型	航行区域	沿海
全長	33.50m	機関出力	736kw(1000PS)×2基
全幅	11.60m	推進器	4翼可変ピッチプロペラ×2基
深さ(型)	4.20m	回収油タンク	41.3m ³ (20.65m ³ ×2基)
最大喫水	2.64m	ゴミ回収コンテナ	50m ³ (12.5m ³ ×4個)
総トン数	196トン	竣工	平成23年12月



潮目に浮遊するゴミ



流出油の状況



大量流木



流木の回収状況

海面清掃兼油回収船「美讚」の概要

- 従来船より現場に迅速に到着できる(機動性向上)
- 従来船よりゴミ回収コンテナ容量をアップ
- ゴミ圧縮グラブによりゴミの積載量をアップ
- 海上流出油を回収する油分濃縮型の浮遊堰式油回収機
- 操舵室での航海・機関・監視カメラ情報の一元監視
- 水質調査を行うための水質調査機器の装備

ゴミ回収

海面に浮遊するゴミは、「美讚」が潮目に漂っているゴミに向かって進むことで、双胴船の中央部のゴミ回収コンテナに回収されます。また、流木などの大きなゴミは船体の左右に設置した多関節クレーンで回収します。

油回収

海難事故や過失による油流出などによって海面に漂う油を回収します。油回収装置で油水を分離し、低粘度(軽油)から高粘度(重油)までのあらゆる状態の油に対処することができます。

担務海域

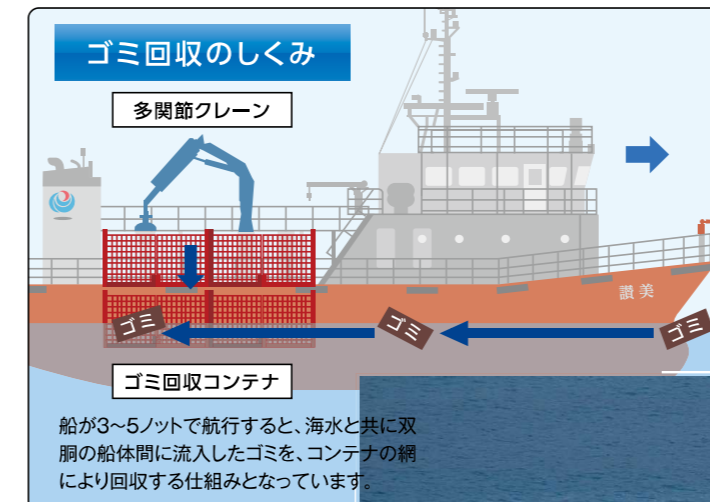
備讃瀬戸全域及び備後灘、燧灘、播磨灘の一部海域

浮遊ゴミ回収実績(坂出港)

昭和49年度から平成29年度までの総回収量は、42,266m³(10tダンプで7,044台分)年間平均回収量は、1,003m³(10tダンプで167台分)※6m³/1台(10tダンプ)
※回収実績は「わしゅう」等の実績



四国管内の担務海域



操舵室

視界確保の観点からオールラウンドビュー(全面窓)とし、前方の窓から船首側が良く見えるよう窓の幅、高さについても詳細な検討を行い、視界確保を図っています。



機関室

環境面においてNOx低減を図るために、4サイクル高速ディーゼル機関を採用。振動低減を図るため、防振マウントを装備。さらに機関の情報監視については、操舵室での遠隔監視を可能としています。



放水銃

放水銃は、ゴミ詰まり解消の他、高粘度浮遊油の粉碎や浮遊油を油吸引口へ集積させることにも活用できます。



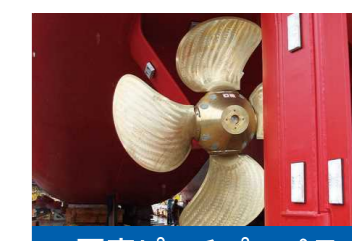
浮遊堰式油回収装置

海面浮遊油及び油流出事故の際に流出油を回収。油水分離能力を高め、濃縮した油水(油分が多い)を回収することで、より効率的な油回収が行えます。



ゴミ回収コンテナ

船体中央部の双胴間にコンテナ式回収装置を装備。海中にコンテナを下ろしてゴミを回収します。コンテナ昇降は、油圧シリンダによるワイヤーロープ方式を採用しています。



可変ピッチプロペラ

機関保護、ゴミ・油回収時の微速航行等のため、可変ピッチプロペラ(CPP)を採用しています。



水質測定用ダビット

定期的な瀬戸内海総合水質調査を行うため、航海船橋甲板の左舷後部に水質測定用ダビットを装備。自動的に水質測定及び採水を行います。



多関節クレーン

竹・流木等の長尺物や粗大ゴミは、両舷に装備した多関節クレーンで処理。左舷多関節クレーンのグラブには、新たに技術開発を行った「ゴミ圧縮グラブ」を装備し、一航海あたりの回収能力向上を図っています。